鳥取県の地震

２０２６年（令和８年）９月
鳥 取 地 方 気 象 台

目　　次

（１） 鳥取県とその周辺の地震活動
震央分布図及び断面図、概況 …… 1
震源リスト（M2.0 以上） …… 1
（２） 鳥取県内で震度１以上を観測した地震
震度のリスト …… 2
震度分布図 …… 2
（３） 地震・津波の知識
鳥取県中部の地震（2016 年）から 10 年
～地震による突然の強い揺れへの備え～ …… 3

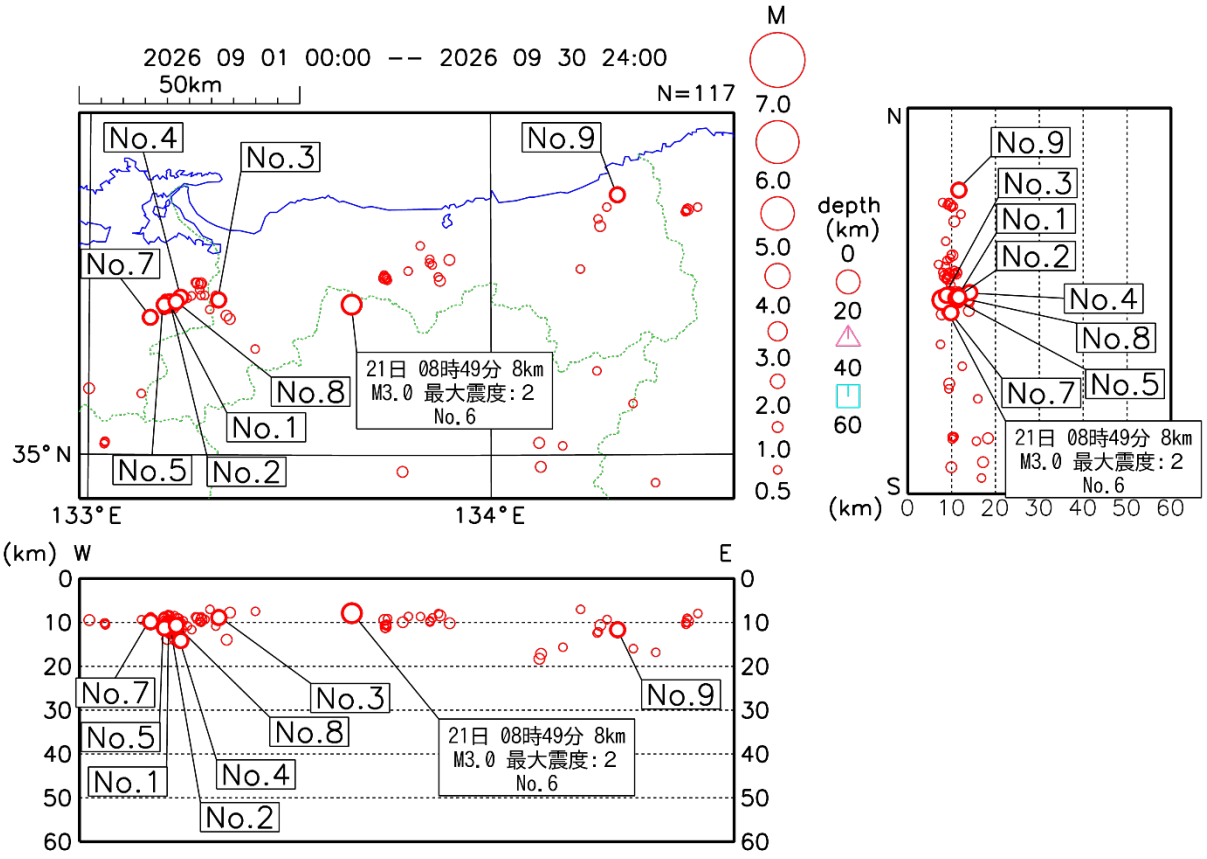
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがあります。

＊　広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図ＵＲＬ　https://www.data.jma.go.jp/osaka/jishinkazan/divos_monthly.html

（１）鳥取県とその周辺の地震活動

［震央分布図・断面図］



［概　況］

2026 年９月に鳥取県内の震度観測点で震度１以上を観測した地震は１回（前月も１回）でした。

21 日 08 時 49 分 岡山県北部の地震（深さ 8km、M3.0）により、岡山県真庭市で震度２を観測したほか、鳥取県、岡山県で震度１を観測しました。鳥取県内では、江府町で震度１を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0 以上の地震は９回（前月は２回）でした（番号は震源リストに対応）。

［震源リスト（震央分布図内のM2.0 以上の震源リスト）］

No.	発震時（年 月 日 時 分）	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニチュード	最大震度
1	2026 年 09 月 02 日 23 時 22 分	島根県東部	35° 18.7'N	133° 12.0'E	12	2.2	－
2	2026 年 09 月 12 日 01 時 32 分	島根県東部	35° 18.6'N	133° 12.2'E	11	2.1	－
3	2026 年 09 月 12 日 10 時 59 分	鳥取県西部	35° 18.9'N	133° 19.3'E	9	2.1	－
4	2026 年 09 月 16 日 13 時 13 分	島根県東部	35° 19.3'N	133° 13.6'E	14	2.6	－
5	2026 年 09 月 19 日 22 時 00 分	島根県東部	35° 18.3'N	133° 11.1'E	11	2.2	－
6	2026 年 09 月 21 日 08 時 49 分	岡山県北部	35° 18.4'N	133° 39.1'E	8	3.0	2
7	2026 年 09 月 22 日 18 時 51 分	島根県東部	35° 16.8'N	133° 9.1'E	10	2.6	－
8	2026 年 09 月 23 日 08 時 59 分	島根県東部	35° 18.7'N	133° 12.9'E	11	2.2	－
9	2026 年 09 月 27 日 19 時 17 分	鳥取県東部	35° 31.8'N	134° 18.9'E	12	2.1	－

（２）鳥取県内で震度１以上を観測した地震

［鳥取県内で震度１以上を観測した地震及び震度のリスト］

発震時（年 月 日 時 分）	震央地名	北緯	東経	深さ	ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ
2026 年 09 月 21 日 08 時 49 分	岡山県北部	35゜18.4’N	133゜39.1’E	8km	M3.0
---------- 地点震度 ----------					
鳥取県　震度　1 ： 江府町上之段広場＊,江府町江尾＊					

・＊印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

［鳥取県内で震度１以上を観測した地震の震度分布図（図中×は震央）］

2026 年 09 月 21 日 08 時 49 分　岡山県北部



（３）地震・津波の知識

鳥取県中部の地震（2016 年）から 10 年
～地震による突然の強い揺れへの備え～

前月号では今年で発生から 10 年が経過する 2016 年 10 月 21 日の鳥取県中部の地震※（以下、「この地震」という。）について書きました。今回は、この地震で発表された緊急地震速報を例に地震による突然の強い揺れへの備えについて解説します。

※　2016 年 10 月 21 日の鳥取県中部の地震
　2016 年 10 月 21 日 14 時 07 分、深さ 11km でマグニチュード 6.6 の地震が発生し、鳥取県倉吉市・湯梨浜町・北栄町で震度６弱を観測したほか、鳥取県を中心に関東地方から九州地方にかけて震度５強～１を観測しました。この地震により、鳥取県を中心に岡山県、兵庫県、大阪府で、負傷者 32 人、住家全壊 18 棟、住家半壊 312 棟、住家一部破損 15,095 棟などの被害が生じました（総務省消防庁による）。

〇地震による突然の強い揺れへの備え

この地震で観測した震度６弱の揺れでは、屋内では固定していない家具の大半が移動し倒れる、屋外では壁のタイルや窓ガラスの破損・落下、耐震性の低い木造建築物は瓦の落下や建物が傾くなどの被害が確認されています。

気象庁では地震による強い揺れから身を守るため、緊急地震速報（警報）を発表します。発表された緊急地震速報（警報）はテレビやラジオの放送、携帯電話の受信などで入手することができます。この地震に対して、最初の地震波検知から 12.1 秒後に緊急地震速報（警報）を発表しました（図）。図の同心円の数字は緊急地震速報の提供から強い揺れが来るまでの猶予時間（秒）[注]です。

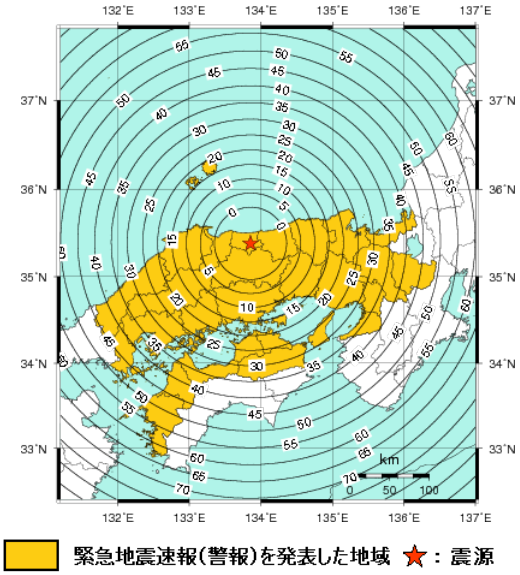


図　緊急地震速報（警報）第１報を発表した地域及び主要動到達までの時間

緊急地震速報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒しかなく、**緊急地震速報を見聞きした時は、周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保してください。また緊急地震速報が間に合わない場合等に備え、日頃から強い揺れに対するとっさの安全確保行動を考えておくことも大切です。**

注　内陸の浅い場所で地震が発生した場合などにおいては、技術的限界により、震源に近い場所への緊急地震速報の提供が強い揺れの到達に間に合わないことがあります。図の０秒の同心円より内側は緊急地震速報が間に合っていない地域になります。

鳥取地方気象台
鳥取県中部の地震（2016 年）特集ページ
https://www.data.jma.go.jp/tottori/disaster/2016chubu_jishin/index.html

11 月５日（木）は「緊急地震速報の訓練」に参加しましょう！

11 月５日の「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、毎年「緊急地震速報の訓練」が全国的に行われます。揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。是非自治体等が行う訓練に参加しましょう。訓練の詳細は下記 URL にてご確認ください。

https://www.jma.go.jp/jma/press/2610/09a/20261009_eewkunren.html

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和８年９月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

ＵＲＬ　https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/

問い合わせ先：鳥取地方気象台
TEL：０８５７－２９－１３１３